

潮風に吹かれて佇む “砂丘の女王”スカシユリ



2013年7月11日撮影

木立の中に咲く 真っ白なアジサイ



2013年7月11日撮影

日向にも、日陰にも…元気に！可憐に！！開花中

夏の日差しを浴び、『砂丘エリア』では“砂丘の女王”スカシユリが元気に力強く咲き、また『ひなの林』では“大きな白い^{まり}毬”のようなアジサイがしっとりと可憐に開花中です。このように“陰と陽”ならぬ日向にも日陰にも、それぞれのエリアの環境に合った花たちが咲いています。

ひたち海浜公園の真夏の花「ジニア」や「ヒマワリ」の登場はもう少し先ですが、夏本番を前にして一服の涼を届けてくれる花々を愛でながら、公園内を散策してみてもはいかがでしょうか。

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 企画課 広報担当 服部・平田・安蔵・田中(案)

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

スカシユリ ユリ科ユリ属

花期：7月上旬～8月上旬

海岸の砂地に生える多年草で、大きなオレンジ色の花を咲かせます。スカシユリの名は、花弁の下方が細くなって各弁の間に隙間ができ、透けて見えることに由来しています。梅雨時に咲き始めますが、雨がこの隙間から落ち、水が溜まらない機能的な花の形をしています。

ひたち海浜公園のスカシユリ

スカシユリの咲く「砂丘エリア」は、乾燥しやすく、潮風が強い、植物にとって厳しい成育環境です。そこでスカシユリは、強い潮風に耐えるため地面を這うように低く育ち、短い莖の先に不釣り合いとも言える大きな花を咲かせます。また、光沢がある葉を持ち、太陽光を反射して葉の温度が上がるのを防いでいます。



2013年7月11日撮影

アジサイ アジサイ科アジサイ属

開花：7月上旬～中旬

アジサイの野生種は大きく分けて、①日本に自生するもの（日本種）、②外国に自生するもの（外国種）、③アジサイ（Hydrangea）ではないが極めて近い特徴を持つアジサイ科の仲間、の3つに区分できます。属名 Hydrangea（ヒドランジア、あるいはハイドランジア）はギリシャ語の hydro（水）と angeion（容器）からなり、水を多く吸い上げる性質と蒴果（さくか）の形からつけられました。最も一般的に植えられている球状のアジサイはセイヨウアジサイで、日本原産のガクアジサイ（Hydrangea macrophylla）を改良したものです。



2013年7月11日撮影

ひたち海浜公園のアジサイ

「ひなの林」は木陰の散策をお楽しみいただけるスポットですが、多くの方が訪れるようなところではありませんでした。そこで新たな魅力を加えようと17種類、1,250株のアジサイを平成23年12月に植栽しました。「アナベル」という品種が大部分を占め、まだ株が小さく花数が多くありませんが、少しずつ株が成長して、花数が増えてきています。

アナベル（北米原産のアメリカアジサイ）

海外からの導入品種の中で一番人気があります。小形の装飾花が密についた集合花は大きく、株一面に咲きます。アジサイの特徴である花色の変化がなく、純白を保つことで人気があります。

TOPIX

コキアなう

「みはらしの丘」のコキアの“今”をレポートします。

大きいもので18cmぐらいになったコキア君。個々の大きさも揃ってきました。今後は楽しみです！



2013年7月11日撮影

プレスリリース

次号予告

『サマーキッズパーク』始まりました！7/13(土)～



※イメージ。写真は会場となるグリーン工房です。